

令和2年度大学院入学試験問題 (中期募集)

学校教育専攻

学校教育深化コース (芸能深化領域 音楽分野)

注意事項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 試験終了後は、解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

(◎ 音楽教育学)

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第3指導計画の作成と内容の取扱い」の2（1）には「ウ 児童が様々な感覚を働かせて音楽への理解を深めたり、主体的に学習に取り組んだりすることができるようするため、コンピュータや教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること」とある。

音楽科の授業において、上記の指導の工夫をするためにはどのように授業展開したらよいか。校種を選び具体的な指導事例とともにあなたの考えを述べなさい。

(◎ 声楽)

歌唱領域において「主体的・対話的で深い学び」を実現するには、どのような授業内容が考えられるか。「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点について説明しながら、それらに対応する具体的なアイデアを述べなさい。

(◎ 器楽)

演奏を評価する基準について、あなたはどのように考えますか。例えば、ある作品を初めて聴いた時の印象が、その作品の演奏の標準として定着してしまうことも考えられます。この点を踏まえながら、あなたの考えを述べなさい。

(◎ 作曲)

器楽（合奏を含む）、歌唱（合唱を含む）、鑑賞の授業で、作曲を学ぶ過程で身についた能力と知識がどう生かせるか自由に述べなさい。

(◎ 音楽学)

「和楽器」のよさとは何か。また、学校の授業（音楽科、または芸術科音楽）で扱う場合、それをどのような形で伝えればよいか。具体例を挙げて、あなたの考えを述べなさい。